

アートグリーン [3419・100 株] 12月18日 名証セントレックス上場

2015年11月27日(金)

更新: 15時48分

株式会社フィスコ

生花を手掛ける地方市場案件

投資スタンスと初値メド

| | |
|-------------|----|
| ブックビルディング参加 | —— |
| 初値投資 | —— |
| 初値メド | —— |

| | |
|------------------------------|------------|
| 市場の注目度 | ★★ |
| 想定仮条件レンジ | 360円～400円 |
| 予想PER | 7.8倍～8.6倍 |
| 予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定 | 400円～800円 |
| 予想PER | 8.6倍～17.3倍 |

※★印は5段階評価

日程

| | |
|-------------|---------------|
| 仮条件提示 | 11月27日 |
| ブックビルディング期間 | 12月1日～12月7日 |
| 公開価格決定 | 12月8日 |
| 申込期間 | 12月10日～12月15日 |
| 払込日 | 12月17日 |
| 上場日 | 12月18日 |

類似会社 3社

| | | | |
|---------------|----------|---|--------|
| 平均PER | 17.8倍 | → | 824円 |
| カネコ種苗<1376> | 11.9倍(連) | → | 551円 |
| ビューティ花壇<3041> | 14.4倍(連) | → | 667円 |
| 大田花き<7555> | 27.0倍(連) | → | 1,250円 |

(PERは11月26日終値の会社側予想ベース)

種苗の輸入販売並びに生花の生産及び卸売を行っている。主要な生花市場において直接セリに参加できる買参権を所有するとともに、生花流通の様々な領域に進出してサービスを提供している。生花流通に関して一括対応でき、生産者・流通業者・小売業者の各方面にメリットをもたらす仕組みを構築している。

地方市場への単独上場のため一部ネット投資家の売買は制約されるが、6月上場のエコノス<3136>や8月上場のエスケーホーム<1431>の初値を見れば、地方市場のIPO案件に対する警戒感はやや和らいでいると考えられる。

公開規模については1億円未満となる見込み。公開規模の極めて小さい案件である。

銘柄紹介

アートグリーン [3419・100 株] 12月18日 名証セントレックス上場

2015年11月27日(金)

更新: 15時48分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

| 業績推移 (百万円・%) | | | | | | |
|--------------|--------------------------------|-------|------|-------|-----|--------|
| 決算期 | 売上高 | 伸び率 | 経常利益 | 伸び率 | 純利益 | 伸び率 |
| 2012/10 | 1,105 | — | 40 | — | 28 | — |
| 2013/10 | 1,249 | 13.0% | 45 | 11.8% | 40 | 41.6% |
| 2014/10 | 1,408 | 12.7% | 47 | 2.6% | 30 | -24.4% |
| 2015/10 見 | 1,686 | 19.8% | 58 | 24.6% | 42 | 41.2% |
| 2016/10 予 | 1,812 | 7.4% | 78 | 33.4% | 50 | 17.7% |
| 2015/7 3Q | 1,276 | — | 57 | — | 34 | — |
| 予想 EPS/配当 | 単独: 46.31 円(上場時発行済株式数で試算) / -円 | | | | | |

業績コメント

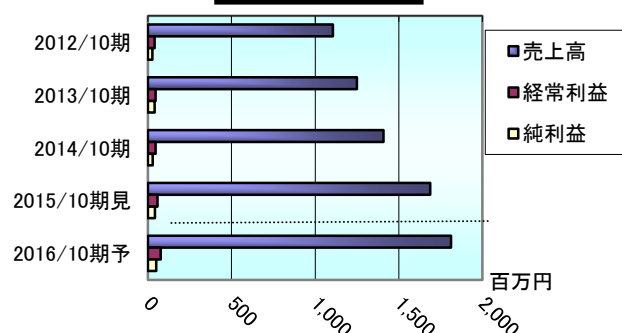
2016年10月期の業績は、売上高が前期比7.4%増の18.1億円、経常利益が同33.4%増の0.7億円と増収増益の見通しとなっている。

足元の花き業界では、5月の母の日用フラワーギフトは依然として需要が多く、定番の赤カーネーションを中心に堅調な推移だった。また、企業の環境問題への取り組みによる屋上緑化及び壁面緑化や、年度末から5月中旬にかけて集中する傾向にあるオフィスの移転やレイアウト変更に伴い、オフィス内に観葉植物を多く導入する企業も増えてきている。

このような事業環境のなか、同社のフラワービジネス支援事業は、既存取引先への販売強化として、新たに上場企業、大手企業の関連会社各社向けオリジナルのフラワーギフトカタログを作成し、グループ企業からの注文量を増加させる営業強化に注力した。また、新規顧客開拓やブライダル関連企業へむけた取り組みも強化した。

ナーセリー支援事業では、台湾の提携農場と国内の取引先農家の連携(コミュニケーション)強化に注力したことで、胡蝶蘭苗の安定した品質と供給量を確保することができた。また、農園事業については、引き続き経営支援と継続的な生産指導を強化しつつ、胡蝶蘭生産能率の向上や、市場動向に合わせた出荷体制の整備に努めた。

単独業績動向



銘柄紹介

アートグリーン [3419・100 株] 12月18日 名証セントレックス上場

2015年11月27日(金)

更新: 15時48分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

| 基本概要 | |
|-------------|---|
| 所在地 | 東京都港区海岸一丁目14番24号 |
| 代表者名(生年月日) | 代表取締役社長 田中 豊(昭和41年1月21日生) |
| 設立 | 平成3年12月12日 |
| 資本金 | 9467万円(平成27年10月31日現在) |
| 従業員数 | 45人(平成27年10月31日現在) |
| 発行済株式数(上場時) | 1,090,000株(予定) |
| 公開株式数 | 公募200,000株 売出株 (オーバーアロットメントによる売出30,000株) |
| 想定公開規模 | 8280万円~9200万円(OA含む) |
| 事業内容 | 種苗の輸入販売並びに生花の生産及び卸売 |

| 売上高構成比率 (2014/10期 実績) | | |
|-----------------------|-----------|---------|
| 品目 | 金額 | 比率 |
| フラワービジネス支援事業 | 932 百万円 | 66.2 % |
| ナーセリー支援事業 | 325 百万円 | 23.1 % |
| フューネラル事業 | 151 百万円 | 10.7 % |
| 合計 | 1,408 百万円 | 100.0 % |

| 幹事証券団 (予定) | | | |
|------------|---------------|---------|-------|
| | 証券会社名 | 引受株数 | 引受シェア |
| 主幹事証券 | エイチ・エス証券(株) | 154000株 | 未定 |
| 幹事証券 | (株)SBI証券 | 14000株 | 未定 |
| 幹事証券 | 東海東京証券(株) | 8000株 | 未定 |
| 幹事証券 | 岡三証券(株) | 6000株 | 未定 |
| 幹事証券 | SMBCフレンド証券(株) | 4000株 | 未定 |
| 幹事証券 | 東洋証券(株) | 4000株 | 未定 |
| 幹事証券 | 日本アジア証券(株) | 4000株 | 未定 |
| 幹事証券 | エース証券(株) | 2000株 | 未定 |
| 幹事証券 | 極東証券(株) | 2000株 | 未定 |
| 幹事証券 | むさし証券(株) | 2000株 | 未定 |

銘柄紹介

アートグリーン [3419・100 株] 12月18日 名証セントレックス上場

2015年11月27日(金)
更新: 15時48分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位10位

| 順位 | 株主名 | 保有株数 | 保有シェア |
|----|----------|-----------|---------|
| 1 | 田中豊 | 716,000 株 | 75.21 % |
| 2 | 根本和典 | 84,000 株 | 8.82 % |
| 3 | 株式会社i879 | 48,000 株 | 5.04 % |
| 4 | 芝田新一郎 | 20,000 株 | 2.10 % |
| 5 | 堀威夫 | 18,000 株 | 1.89 % |
| 6 | 伊藤正之 | 4,000 株 | 0.42 % |
| 合計 | | 890,000 株 | 93.48 % |

その他情報

| | | |
|-------------|--|---|
| 手取金の使途 | 受注処理の自動化及び顧客情報の細目管理による業務全般の効率化を目的としたシステム投資や会計システム投資、および自社製品(胡蝶蘭)生産育成のための運転資金、事業拡大による増加運転資金に充当する予定。 | |
| 関係会社 | - | |
| VC売却可能分(推定) | 一株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外) | |
| 直近有償第三者割当 | 年月日 | - |
| | 割当先 | - |
| | 発行価格 | - |

アートグリーン [3419・100 株] 12月18日 名証セントレックス上場

2015年11月27日(金)
更新：15時48分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

銘柄紹介

同社は胡蝶蘭を中心とした生花の卸売業を主な業務としている。主要な生花市場において直接セリに参加できる買参権を有するとともに、生花流通の様々な領域に進出し、利便性の高いサービスを提供している。生花流通に関して一括対応でき、生産者・流通業者・小売業者の各方面にメリットをもたらす仕組みを構築している。

(1) フラワービジネス支援事業

フラワービジネス支援事業では、以下の3つの事業を行っている。

(1A) 上場企業、大手企業の関連会社において企業グループ内の慶弔関連の生花発注を取り扱う事業部門を設け、同社がその受注品の仕入から配送までのすべての業務を代行する事業。

(1B) 一般生花小売店や百貨店に対して、主に贈答用の胡蝶蘭、観葉鉢物、花束、アレンジメントフラワーなどの生花全般の仕入から配送までの業務を代行する事業。

(1C) プライダルサービス会社の生花装飾を引き受ける事業。

(2) ナーセリー支援事業

ナーセリー支援事業は、胡蝶蘭生産農家へ胡蝶蘭の種苗を販売する事業である。台湾農場より輸入した胡蝶蘭の種苗を、国内生産農家へ販売している。

また、種苗販売の一環としてアグリカルチャービジネスの支援を行っている。余剰土地の活用や事業の多様化を目的として、農業関連ビジネスに参入した大手企業はノウハウがないため、このような企業に対して同社は生産品目の選定・生産指導・販売戦略等のアグリカルチャービジネス支援を行っている。花き生産事業において種苗の仕入れから販売までのプロセスをサ

ポートしている。特に、胡蝶蘭については、台湾、日本の農家とのリレーションを持っていることで効率的な生産プロセスを提案している。

さらに、ナーセリー支援事業では、胡蝶蘭生産農家と提携し、胡蝶蘭の自社生産を行い、市場へ出荷する農園事業を行っている。台湾の農場から仕入れた胡蝶蘭種苗を生産農家へ販売する事業だけではなく、自社として胡蝶蘭を育成、生産している。

(3) フューネラル事業

フューネラル事業は、主に会館葬を取り扱う葬祭事業者の下請生花業者、または葬祭業者直営の生花店へ菊などの切花を販売する事業である。

葬送時には一般的に葬祭業者を利用するため、葬祭業界は安定した収益をあげてきているが、近年は異業種からの参入も多く見られ、インターネットによる見積りなど、葬儀費用の透明性が上がったことで、以前よりも高い利益を上げにくい状況になりつつあり、葬祭業者は切花の在庫を持たない傾向にある。

そうしたなか、同社は全国の切花生産者や全国複数の市場から得た切花の生産状況や卸売市況の情報を基に、その時々品の品質と価格をマッチングさせ、直接市場で仕入れられない葬祭業者に対して、小ロットでの切花を販売している。また、市場でのセリが終わった後などの突発的な需要に対応するため東京本社に切花を保管し、葬祭業者の時間指定の配達にも対応して、葬祭業者の仕入担当者の利便性を図っている。

アートグリーン [3419・100 株] 12月18日 名証セントレックス上場

2015年11月27日(金)
更新: 15時48分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

地方市場への単独上場のため一部ネット投資家の売買は制約されるが、6月に札証アンビシヤスへ上場したエコノス<3136>が公開価格の2.2倍となる初値を付け、8月に福証Q-Boardへ上場したエスケーホーム<1431>も公開価格を13.8%上回る初値となるなど、地方市場のIPO案件に対する警戒感は和らいでいる。なお、エコノスに見られるように、公開規模の極めて小さい案件では小額の買いで初値が飛びやすい。ただ、12月第3週はIPOラッシュの最中であり、かつ12/18は3社同日上場となるため、人気集中の可能性は低いだろう。

公開規模については1億円未満となる見込み。田中社長が発行済株式の約8割を保有しており、ベンチャーキャピタル保有株はない。

同社は、胡蝶蘭を中心とした生花の卸売業を主な業務としており、フラワービジネス支援事業、ナーセリー支援事業、フューネラル事業の3事業を展開している。主要な生花市場において直接セリに参加できる買参権を所有するとともに、生花流通の様々な領域に進出してサービスを提供している。生花流通に関して一括対応でき、生産者・流通業者・小売業者の各方面にメリットをもたらす仕組みを構築している。

業績面について、2016年10月期は売上高が前期比7.4%増の18.1億円、経常利益が同33.4%増の0.7億円と増収増益の見通しとなっている。収益規模は小さいが、拡大トレンドが続いている。想定仮条件水準の今期予想PERは8倍前後で、流動性の低さをディスカウント要因として考慮する必要があるものの、類似企業と比較して割安感がある。

銘柄紹介

アートグリーン [3419・100 株] 12月18日 名証セントレックス上場

2015年11月27日(金)
更新: 15時48分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資スタンスの見方

| | | |
|----------------------|---------|--------------------------------|
| Aggressive (アグレッシブ) | 積極的参加 | 投資収益率 100%以上が見込まれる案件 |
| Active (アクティブ) | やや積極的参加 | 投資収益率 50%以上が見込まれる案件 |
| Passive+ (パッシブ・プラス) | やや消極的参加 | 投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件 |
| Passive- (パッシブ・マイナス) | 消極的参加 | 投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件 |
| Negative (ネガティブ) | 参加見送り | 投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件 |

《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券 WEB サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

■ 国内株式取引のリスク情報について

・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

■ 留意点

・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等： 株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号： 関東財務局長（金商）第44号
加入協会： 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会